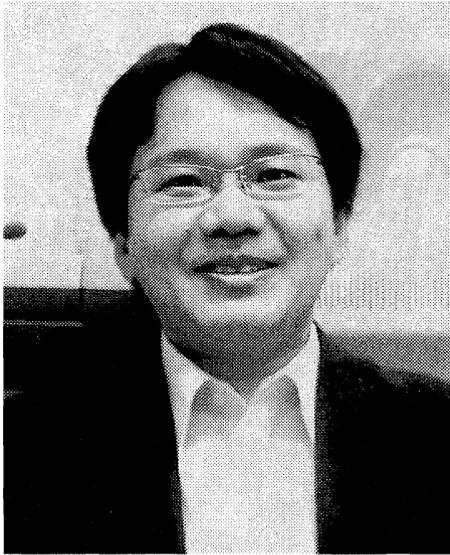


キャンパス NOW

同志社大(キリスト教系)や龍谷大(浄土真宗系)など京都を中心とした「京都・宗教系大学院連合」が動き出した。宗教・宗派を超え、国際社会にアピールできる幅広い研究ネットワークを築こうという試みだ。来年4月に加盟大学の宗教関係科目を相互に履修できる単位互換制度をスタートさせる。同連合事務局長の小原克博・同志社大教授(比較宗教学論学)に聞いた。

現在、その運営にあたる「評議会」(議長、武田龍

「京都を世界的な宗教研究の拠点に」 宗教系大学院連合「始動」



精・龍谷大教授)に参加し式発足し、花園大(臨済宗)も近く加わっているのは同志社大、龍谷大のほか、大谷大(浄土真宗系)、佛教大(浄土宗系)、種智院大(真言宗系)——地球環境や平和の問題をめぐる、世界的に宗教者間に対話が叫ばれ、宗教者(真言宗系)——和歌山県高野山大野町の6校。7月末に正務務局長 小原克博・同志社大教授に聞く

「同志社大には、キリスト教、ユダヤ教、イスラム教の研究者がいますが、仏教系の大学の人たちがイスラム教を知る機会ほとんどありません。また他の宗教を知ろうと集会などで数時間話し合ったところで何もわかりません。互いの宗教についてじっくりと学ぶ場を作らないことには相互理解は進みませんよ」

——これまで宗教系大学の横のつながりがありませんでしたか。

「各宗派とも、自らの教義を研究し、後継者の養成に主眼を置いていた。社会に対する問題意識も薄く、研究は自己完結的になりました。各大学がそれぞれ世界のトップレベルの学者を京都に招き、その大学の学生にだけ話してもらっていた。その学者自身が他の宗教の現状を知りたいと思っても、それもできなかった。それではあまりにももったいない」

——具体的にどんなことをやるのですか。

「まず各大学が公開科目、シラバス(講義計画)を他大学の学生に提案し、学生が自由に選択し、単位互換できるようにします。仏教には浄土宗、真宗、禅宗などがあり、自分が属する大学や宗教・宗派を比較しながら研究テーマを深められる。教員にも学生にもいい刺激になりますよ」

——各宗教の間の対話をめぐる地域モデルになりませんか。

「今後、宗教系大学院の間の連携を深める一方、国内外の研究者らと交流を図っていきま

すね。

「京都にいたれば、一つの大学を足場にしなから、さまざまな宗教の研究ができるという利点を世界にアピールしたい。そんな宗教研究のネットワークを活用すれば、国際社会に大きな発信力をもつこともできますよ。たくさん

の大学と宗教が集まっている京都の魅力を生かしていきたい」

TOPICS